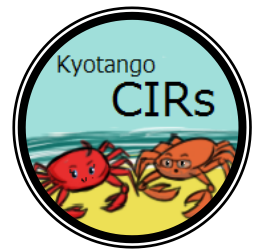




京丹後市教育委員会事務局  
学校教育課



平成28 10月Vol. 1  
編集者: ジョセフ・オーエン

## 今月の話題

今年、京丹後市に新しく「国際交流員」がやってきました。この5つの漢字だけでこれはどんな仕事かわかるでしょうか？もうちょっとこまかくみてみよう。

国際交流員とは日本語が話せる日本に住む外国人で、外国の文化やことばに関わる活動を行います。CIR(国際交流員)の主な仕事は地域で日本語を使い、日本人と外国人の間のかけ橋として様々な背景を持つ人々と触れ合い、相互理解と友好関係を深める活動を行います。それでは、京丹後市に新しく任用されたCIRの2人を紹介いたします。



名前: フィービー・ホーガン  
職場: 企画総務部企画政策課  
国籍: アメリカとイギリス  
出身地: マサチューセッツ州・ボストン市  
大学専門: 日本語と比較文学、副専攻は芸術

主な仕事: 翻訳と通訳(日本語と英語)、英語で重要な情報を提供する、地域における国際的なイベントを行う、高齢者と子ども(学生以外の人)に英語を教える、京丹後に住む外国人への支援をする。  
しゅみ: 絵を描くこと、演劇、コンピューターゲーム。

## 今日単語

## “Japan”

今回の言葉は「Japan」(ジャパン)。これは「日本」という意味だが、なぜ「ジャパン」という発音をするのでしょうか？なぜなら、イタリアから来たマルコ・ポーロは中国人から日本のことをはじめて聞きました。彼は当時の中国語を聞き、自分のイタリア語に変換すると「Chipangu」(チェパング)になりました。英語の「Japan」はこの「Chipangu」に由来するそうです。

好奇心新聞カラー版は京丹後市ホームページに掲載してありますので、ぜひ検索してみてください！

好奇: 「こう-き」  
めずらしいことや  
未知のことに対して  
強くきょうみを持つこと

名前: ジョセフ・オーエン

職場: 京丹後市教育委員会事務局学校教育課  
国籍: ニュージーランド  
出身地: オークランド市  
大学専門: 音楽(作曲)、日本語  
主な仕事:



海外に対する市民の意識を高め、国際的な知識を増やす活動をする、外国(特に英語圏)のルーツを持つ子どもを支援する、京丹後市中学生海外派遣事業の準備をする  
しゅみ: ヨガ、走ること、音楽、日本のテレビ。

## いきなりぼうけん “Fox Glacier”



フォックスグレイシアとは、ニュージーランドにある氷河です。氷河期から残り、山脈の降雪の重なりで構築され、

色が透明と白の混じり合った鮮やかな青に輝きます。驚くことに、この氷河は積雪量と地球の気温によって動きます。気温が高くて積雪量が少なければ、山の上まで縮みます。逆に、気温が下がり、積雪量が多ければ、氷河が伸びていきます。氷河の動きによって、巨大な峡谷が掘られます。現在、全長が13キロメートルあり、観光で上を歩け、またヘリコプターに乗り、上から見ることもできます。しかし、最近の地球温暖化の影響を受け、氷河が縮みつつあります。氷河から溶けた水が周りの石と混じり合い、不思議な乳白色の青に染まった水が氷河から流れてきます。近くの「テカポ湖」は周りの氷河が溶けた水に溢れ、この同じようなミルキーブルーに染まっています。